大使館訳

ベネズエラ･ボリバル共和国
人民権力外務省

1．　ベネズエラ･ボリバル共和国は、2017 年 8 月 11 日にアメリカ合衆国ドナルド･トランプ大統領が発した、非友好的で敵意ある声明を、断固として明白に拒否する。同声明における我が祖国に対する軍事介入による威嚇は、国連憲章に謳われた目的及び原則並びに、特に政治的な独立国家に対する武力による威嚇又は武力の行使に関する国際法上の規範に、明らかに違反するものである。

2．　ドナルド･トランプ大統領の好戦的な声明は、米国政権のベネズエラに対する組織的な攻撃の中に明確に位置づけられるものであり、ベネズエラ･ボリバル共和国の平和及び安定、独立、領土保全、主権、民族自決権に対する直接的な脅威である。これは、ベネズエラの国家元首及び政府の長であるニコラス・マドゥーロ・モロス大統領が、相互尊重に基づくハイレベルで平等な協力関係の確立を米国政府に再度呼びかけた、わずか一日も経たぬ間に発せられた。

3．　ドナルド･トランプ大統領の無分別な脅迫は、ラテンアメリカ及びカリブ諸国を紛争に駆り立てようとしているようだ。ひとたび紛争が起これば、ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）加盟国全 33 カ国が 2014 年に宣言した、平和地帯としての我々の地域の、安定・平和・安全が恒常的に乱されることになろう。

4．　ベネズエラ･ボリバル共和国は、国際社会に対し、重大な脅威が甚大さを増して我が国に差し迫っていることを、再度警告する。米国政権は、ベネズエラ国民と、その確かな平和主義及び自由主義資質に対する軽蔑を明らかにしつつ、我らのアメリカ（Nuestra América）に対する米国政権の帝国主義的気質と新植民地主義の天性を、再び顕わにしている。

5．　ベネズエラ･ボリバル共和国は、国際社会の構成国及び世界の自由な諸国民に呼びかける。アメリカ大陸の平和と安定に対して企てられたこの危険に、明確で明白な拒絶を表明しよう。今や国際機関と地域及び世界の

多国間フォーラムは、国際法上の規範の有効性を再度確認し、米国帝国主義のベネズエラ国民に対する 100 年以上に亘る侵略行為に歯止めをかける時である。

我々は全てのベネズエラの愛国者に対し、その肌の色や政治党派を問わず、団結するよう呼びかける。

「独立か無か」　シモン・ボリバル

カラカス、2017 年 8 月 12 日